



Rule Making Project

丹高ニュース

№15

令和8年2月2日(月)

～ 豊かな学びの実現 ～

ルールメイキングプロジェクト+2025 ～Go for it“やってみたい”の実現へ～ ルールメイキング@衆議院選挙

いざ衆院選 政治に関心を 西条・丹原高で主権者教育

公約確認し模擬投票



グループワークで、候補者の印象や関心のあった政策を話し合う丹原高生



模擬投票を体験する丹原高生

第51回衆院選が公示されたのを受け、丹原高校(西条市丹原町願連寺)で1月29日、1、

2年生を対象にした主権者教育の出前授業があった。44人が選挙の仕組みや意義を学び、

模範投票を体験した。同校が2022年から取り組む、対話を通じて校則などを見直し、生徒の主体性を育む「ルールメイキング」活動の一環で実施。総務省主権者教育アドバイザーの越智大貴さん(38)が講師を務め「選挙を難しく考えず、好きなアイドルの推し活のイメージで親しんでほしい」と伝えた。生徒は10グループに分かれ、今回の衆院選愛媛2区に立候補している3人の公約を選挙公報で確認。「子ども

の未来を考えている」「地域に目を向けている」などと感じたことを話し合い、投票用紙に意中の候補者を書き込んだ。1年仲原陽翔さん(16)は「これから候補者の立て看板に書かれた主張もよく見ようと興味を湧いた」。2年村上理世さん(17)は「対話を通じて、候補者に対する見方が人によって異なることが分かった。来年は選挙へ行きたい」と話した。(伊藤義樹)

「ルールメイキング」で、選挙を学びの教材として取り上げ、当事者意識を持ち、納得解を主体的に見出しました。

地域社会を考え、「主体的に学びを創る力」の育成をしています。